

科目名	商法入門	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済	学科	□必修 ■選択
				学科	□必修 □選択
英文表記	An Introduction to Commercial Law	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	くにい のりお	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	國 井 法 夫	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	個人会社・個人商人が商売(営利行為)をする際のルールを学ぶ。				
到達目標	就職活動をするにあたって、何をしたら商法の適用を受けるのかを学ぶ。				
授業概要	まず、民法と商法との関係を学び、その後、順次商法の内容を説明し、出題された過去問を解いていく。				
授業計画					
第1回	商法の概念と法源について				
第2回	商人－企業の主体について				
第3回	営業－商人の活動と財産について				
第4回	商号と商業帳簿について				
第5回	商業使用人について				
第6回	代理商・商業登記について				
第7回	商行為の意義と種類について				
第8回	商行為の通則について ― 民法と商法の違い				
第9回	商行為の通則について				
第10回	商事売買 商事売買と民事売買の違い				
第11回	商事売買				
第12回	交互計算・匿名組合				
第13回	仲立営業・問屋営業				
第14回	運送営業・運送取扱営業				
第15回	場屋営業・倉庫営業				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	自分の進路に合わせて関心のある内容について、各自研究調査する。				
履修条件 受講のルール	真面目に出席できる人を望みます。また、頭髪並びにスマートフォン等違反者は注意・指導します。				
テキスト	ポータルサイトに掲載するプリントにより授業を実施します。				
参考文献・資料	関俊彦著『商法総論総則』有斐閣				

成績評価の方法	テストの点数(50%)・授業態度(20%)・授業への貢献度等(30%)を総合評価します。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	月曜日 4 時間目
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び 実務を活かした 授業内容	
学生への メッセージ	真面目に授業を受け、欠席しない学生を希望します。なお、頭髪等については注意をします。